

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well うエル おおさか

24
2011.2

特集 一斉改選を迎えて

◎イキイキ ハツラツ

民生委員・児童委員さん

泉大津市民生委員児童委員協議会

民児協だより

島本町民児協／門真市民児協

富田林市民児協／高石市民児協



表紙の作品と作者

●社会福祉法人 つむぎ福祉会●

[ポンチセピリカ]

大阪市

パン工房エビのみなさん

思わず手が伸びる、まんまるぽってりとしたパン。自家製のスイートポテトを包み込んだこのパンは、第6回大阪府授産製品コンペティションで「大阪府社会福祉協議会会長賞」を受賞したもの。大阪市東住吉区にある社会福祉法人 つむぎ福祉会 ポンチセピリカ パン工房エビのみなさんがつくられた自慢のスイートポテトパンです。

パンの製造・販売を始めたのは、知的障がい者の通所授産施設として開所した2002年。「パンは毎日食べるものですし、利用者さんも楽しみながら作業できるものと、パン事業を始めました」と中谷路子施設長は話します。とはいえ、パンづくりの経験のない職員がゼロから始めるのは難しいもの。「採算面など先行きに展望が持てる事業にできるよう、地域でパン屋を営まれていた方に、パンづくりの指導をしていただいています」と、パン製造のプロのアドバイスを参考に、自分たちで工夫しながら、こだわりのパンを毎日焼いています。

パンづくりに携わっているのは10名の利用者と職員で、利用者さんは計量やミキシング、成形などを、焼き上げ



カフェを併設した「パン工房エビ」。コーヒーと一緒にどうぞ。



焼き上がったパンを店頭で並べる利用者さん。また、取材日はちょうどチョコラスクの作業中。役割を分担し、てきぱきと作業を進めていました。



は職員が担当。スイートポテトパンではさつまいもを丁寧に裏ごしする大変な作業も利用者さんが心を込めて行っています。月曜から金曜まで毎日パンづくりに励み、作業所の1階にある店舗での販売と、車での移動販売を行っています。また、保育園などに給食用のパンを納品しているほか、注文に応じて配達も行っています。地域のイベントなどでまとめて注文が入った時には土日でもフル稼働となることもあるそうです。

秋ならリンゴのクリームや栗あん、冬ならチョコレートを使ったパンなど、季節に応じて30種類ほどのバリエーションを用意。加えて最近は自家製フランスパンを使ったラスクに力を入れているそう。どれも基本的に国産の材料を使い、安心・安全に気を配っています。

今後の目標は「利用者さんがもっとパン作り全体に携われるようにしたい」とのこと。こちらのパンは大阪府庁内のチャレンジショップ「まちのパンやさん」でも月に数回販売中。ぜひ一度自慢のパンをお試ください。

＊お問い合わせ先＊

〒546-0003

大阪市東住吉区今川

4-10-3

TEL.06-6708-8341

FAX.06-6708-8340



編集後記

児童虐待や所在不明高齢者問題など、地域社会の変容や人と人とのつながりの希薄化をあらわす事件が多数発生するなかで、民生委員・児童委員活動についても報道で大きく取り上げられました。一斉改選を迎え、さらなる活躍が期待されています。まだまだ寒い日が続きますが、お体ご自愛ください。

Well うエル おおさか vol.24
(通巻58号)

発行日: 平成23年2月

発行: 大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局: 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyo/>



この冊子は再生紙を使用しています。

大阪府民生委員児童委員協議会連合会

新体制がスタート!!

平成22年12月1日、全国で民生委員・児童委員の一斉改選が行われました。大阪府民児協連でも、12月7日に開催された理事会において新しい役員が選出されました。今後は新しい体制で、さまざまな取り組みを具体的に進めながら事業展開を図ってまいります。
本会の会長、副会長より就任にあたり、皆さまにご挨拶を申し上げます。



坂本 光世

◆ 大阪府民児協連 副会長

地域の民生委員活動の経験を生かして

大阪府民生委員児童委員協議会連合副会長という大きな役職に就くにあたり、大変不安もございますが、これまでの地域での民生委員活動の経験を生かし、当会の副会長としての重責を誠意を持って一生懸命頑張る所存でございます。

皆さまにはこれから3年間、ご協力くださいますようお願い申し上げまして、就任のご挨拶に代えさせていただきます。



石原 欽子

◆ 大阪府民児協連 副会長

地域福祉の担い手として

このたび、ご就任されました民生委員・児童委員、主任児童委員の皆さま、心より歓迎いたします。

今日、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しており、地域社会においては、高齢者や障がい者などの社会的孤立化とそこから発生する問題、弱者への虐待問題など、さまざまな問題が生じてきております。

私たち民生委員・児童委員は、これらの課題に対し地域福祉の担い手として、地域における各種団体、関係機関などと連携・協働して取り組み、地域住民のニーズに応えた活動に努めていかなければなりません。

新しい委員の情熱と皆さんの行動力を期待しております。



今浜 茂春

◆ 大阪府民児協連 副会長

100年の活動に相応しい根幹を探って

このたび、連合会の副会長という大任を仰せつかり、責任の重大さを考え、未熟な自分で務まるか心配しております。しかし、引き受けた以上、心を引き締めて頑張っていく決意であります。

どうか大阪府内全市町村の会長様をはじめ、民生委員の皆さまのご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

また、就任にあたり、大きく変わりつつある福祉活動について「住民福祉と民生委員」「地域福祉活動と民生委員」など、21世紀100年の民生委員・児童委員の活動に相応しい根幹を探ってまいりたいと考えています。



地井 誠一郎

◆ 大阪府民児協連 副会長

共に頑張りましょう

大任を仰せつかり、責任を痛感しております。皆さまにご指導いただきながら、微力を注ぎたいと思います。

委員の皆さま、特に新たに委嘱を受けられた皆さまには高齢者や児童の問題など、地域福祉は多種多様で多忙だと感じておられることと思います。地味な仕事ですが、細く長く活動していただくことが大切です。多少のことに感謝されたり、活動の成果があった際などの喜びは格別です。共に頑張りましょう。よろしくお願いいたします。



山本 正一

◆ 大阪府民児協連 副会長

委員同士の意思統一を図りながら

私が豊中市の第一地区民児協の会長になり、早十数年が過ぎました。過ぎ去った日々を振り返ってみますと、活動を通して多くの会長様と出会うことができ、感謝しております。

さて、最近の社会情勢の推移とともに、私たち民生委員の活動範囲も広がっております。これらに対応していくためには、民生委員同士がお互いに持っている情報と経験を出し合い、意思統一を図ることが必要であると思います。

連合会場の皆さま方の理解と協力を得ながら連携、協働を進めていくところになればと願っております。

今後府民児協連の発展充実のため、役員の一人として、誠心誠意努力してまいりますので、皆さまのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



羽原 義人

◆ 大阪府民児協連 会長

「福祉と共生のまちづくり」に向けて

大阪府民児協連では、今回の一斉改選で新しく就任された1,724名を含め、府内7,801名が厚生労働大臣の委嘱を受けられ、新体制が発足しました。

今期は、民生委員制度発祥の地大阪から、全国に情報発信を行い、民生委員・児童委員の地位向上と社会的評価の高揚を目指し、さらには活動しやすい条件整備の構築と「福祉と共生のまちづくり」に向け、皆さま方と共に努力してまいりたいと思います。

府民の皆様に対し、「顔の見える民生委員・児童委員」としてのご活躍と、より一層の府民児協連へのご協力・ご支援をお願い申し上げます。



退任会長のご挨拶と新任委員さんへのメッセージ



大阪府民児協連
前副会長
妹尾 節子

地域に根ざした活動を

私は、昭和43年12月に委嘱を受け、以来42年がたちました。新任の時、町長から社会奉仕の精神を持って「地下水」のごとく大切な職務を担い、長く続けてくださいと励まされ、頑張ってきました。

その後、平成12年6月に民生委員法が50年ぶりに改正、「住民の立場に立つて相談に応じ必要な援助を行う」と改められ、社会の状況の変化に対応しながら、皆さんと共に活動を続けられたことは、この上もない喜びでございます。

過日、民生委員児童委員の委嘱権限の地方への移譲が懸念されていましたが、国に残されることとなり安心しました。

全国23万人の方々と共に同じ活動方針で職務に携わるからこそ、やりがいを感じるのだと思います。守秘義務を守りながら、地域に根ざした活動を続けていただきますようお願い申し上げます。



大阪府民児協連
前副会長
山本 昭子

定年を迎えて思うこと

私が「民生委員を受けて」と頼まれたとき、今は亡き両親から「自分たちはあなたに迷惑をかけるようにするから受けたら？」と背中を押されて決めました。何をどうするかもわからずスタートして、気がついてみると家事より民生委員の活動を優先してしまい、主婦と両立するのは無理かもと落ち込んだときもありました。

また、思いがけず健康を損い、周りの方々に迷惑をかけたことで、職務を全うするには健康が第一であることを痛感しました。その後は機会があるたびに「自分の身体は自分で守ってください。健康でなければ活動ができません」と、委員の方々にお願いし、自分にも言い聞かせました。

「健全なる精神は健全なる身体に宿る」といわれています。委員の方々へ「元気で頑張ってください」と祈念して、今後は、これらの経験を基に一歩ずつ歩みたいと思っています。



大阪府民児協連
前副会長
弐賀 信正

さわやかに退職できるように

民生委員の職務は厚生労働大臣の委嘱です。それは、「厚生労働大臣より、あなたに民生委員(児童委員)をお願いします、それを受けて承知しました」ということだと理解し、私はこの委員を受けたからには積極的に活動をするにしました。

民生委員法の第1条と第2条を暗唱するぐらいにしましょう。民生委員の理念、使命が読み取れます。また、民生委員信条と児童憲章前文を心に留めて活動していただければ立派な活動ができると思います。余裕ができたなら方面委員制度について調べてみたり、平成12年に福祉関連8法が統一的に改正されていますので民生委員法や児童福祉法、社会福祉法を正しく理解しましょう。民生委員が守秘義務のある無報酬の特別職の非常勤地方公務員であり、地域福祉の推進の担い手でもあり、できるだけ地域の住民とのかかわりを大切にする職務であることが理解できると思います。せっかく、皆さんは民生委員の委嘱を受けているのですから、退職する時にはこれまで多忙だったけれども充実感を持って「さわやかに退職できるよ」であって欲しいと思います。

平成22年度

民生委員・児童委員が

活動しやすい 環境づくりに向けた 検討会 ～検討報告(要旨)～

WELLおおさか22号でも取り上げました同検討会(平成20年12月設置)では、重点課題を6つに整理し、平成22年度は検討会委員の市町村民児協で課題に沿った実践的な取り組みを行いました。

その取り組みを踏まえて、次のように報告としてまとめました。報告書の全文は市町村民児協の事務局に送付していますので、今後の取り組みを検討する際にぜひ活用してください。

欠員問題の解消を 目指す取り組み

地域福祉に理解と熱意があり、住民の立場に立つた相談や支援などの活動が日常的にできる条件と実行力のある人を選出していくことが重要で、そのための仕組みづくりが重要。

【取り組み例】
地区単位ごとに推薦準備会等を設置する

活動の多忙さの解消を 目指す取り組み

活動の負担を軽減し、本来の役割を十分に果たすためにも各種団体との役割分担を明確化し、関係機関との協力のあり方についても整理・見直していく必要がある。

【取り組み例】
夜間、休日等の対応に備えて、行政や関係機関との緊急連絡網の整備・共有

組織活動・日常活動の 強化を目指す取り組み

委員個人が抱える課題を、組織の課題として取り上げ、議論していく仕組みの構築が必要。それは、個々の日頃の活動の支えにつながり、日常活動の強化にもつながっていく。

【取り組み例】
定例会や部会運営の工夫
主任児童委員との連携強化

フォローアップ体制の 充実を目指す取り組み

新任委員やリーダーの育成など民児協として今後の人材育成を視野にいたしたフォローアップ体制に取り組むことが重要。また、事情で一時的に活動を休止させるを得ない委員を委員同士で支える仕組みづくりも必要である。

【取り組み例】
ケース検討や実践交流会を実施する

活動PRの強化を 目指す取り組み

多くの住民に理解を得るためには、地域に密着した顔の見える広報活動に加え、市町村域の広範囲をターゲットとしたPRの強化、また、全国や府レベルでの広報PR活動を総合的に展開していく必要がある。

【取り組み例】
ホームページなど時代にあわせて随時広報手段を工夫開発する

現代の社会情勢に合った 民生委員・児童委員活動とは

民生委員の基本姿勢や性格、活動の原則を守りながらどのようにこれからの活動を発展させるかについて民児協内で議論し、発信していく体制を確立していかなければならない。さらに、関係機関とも民生委員の役割や位置づけについて積極的な議論ができるような場をつくり、広くその活動や課題を発信していくような取り組みが必要になってくる。これらを通して職務内容の再整理や評価向上などにつなげ、活動しやすい環境づくりの実現に取り組んでいく。



登校パトロール
挨拶運動の様子

田尻町民児協 活動報告

平成23年度
月番民児協

田尻町は、周囲を泉佐野市と泉南市、そして大阪湾に囲まれ、関西空港島の中央部を擁しており、面積4.96km²、人口8,234人、世帯数3,485世帯の非常に小さい独立した自治体ですが、行政、住民が一体となって、「ひとが輝き、安心、温もり、魅力が集うまち・たじり」を目標にみんなが頑張っています。

我々、田尻町民児協も主任児童委員2名を含む総勢23名で、府民児協連の中で最小の協議会です。当民児協独自では人員、資金的にも実施できる活動は限られております。しかし、他民児協が実施されている最低限の活動は行う必要がありますので、関係機関、他団体と連携協働の活動が多くなります。すべての活動は主任児童委員と地区担当の民生委員の区別なく、原則は全員参加をモットーにして実施しています。

今回は、平成23年度の当番となる田尻町民児協の活動について、ご紹介をしていただきます。

全員参加をモットーに、 関係機関、他団体と連携した活動を展開

活動内容は、定例会を毎月1回開催。別途、勉強会と称し、案件を見つけて研修会、情報交換などを実施しています。部会は、児童福祉部会、地域福祉部会、事業部会と広報委員会の4部会で活動しています。

まず児童関係では、当町には幼・保一貫教育の「エンゼル」、小学校、中学校が各1校あります。すべての入学・園・所式、卒業・修了式、体育祭、運動会に参加、文化祭や合唱コンクールなどにも出席しています。また、小学校高学年の児童に高齢者の方への「世代間交流年賀状」の発信を仲介しています。さらに、「子ども見守り隊」に加盟し、登下校時の児童見守りと従前よりの登校パトロール、挨拶運動に加えて実施しています。「エンゼル」との交流は、七夕まつり、玉ねぎ植え引き、カレンダーづくりなどを支援し、子育て支援センターや「たじりーあんぐる」(家庭開放)の活動も応援しています。

地域福祉関係では満70歳以上の方のお誕生日に、お祝いのカードとわずかな和菓子添えて友愛訪問を実施、近況をお伺いしています。また、町の長寿祝金や長寿祝品を持つての訪問も実施しています。社会福祉協議会の応援で配食の代金徴収、おせち料理の要否の調査および、配付、共同募金の応援も行っています。

防犯連絡協議会にも加盟し、地域



玉ねぎ引きの
様子

幼保一環教育
「エンゼル」との交流

安全大会、夏季・年末防犯パトロールを月1回、青色灯パトロール車で巡回見守りを実施し、青年団主体の盆踊りや秋祭りの警備見守りなどにも参加しています。

行政と地区会が主体で行う防災訓練には事前の検討連絡会から参加し、民児協としては「災害時一人も見逃さない運動」の実践訓練を実施しています。訓練では緊急連絡網を利用し、まずは委員と家族の安否をキーマンに連絡。続いて、「要援護者」が登録されている自宅を回り、安否を確認し、結果を報告、集約のうえ災害対策本部へ報告します。

他にも各種団体が参加して、年2回のクリーン作戦と称し、河川の清掃を実施しています。また、事業部会では新規の事業、活動などを行う場合の計画、立案をし、実施までを担当しています。

以上、活動を羅列しましたが、事務局の協力を得て全員一丸となって励んでおります。

民生委員・児童委員が活動しやすくなるために



第3回 ～大阪狭山市民児協～



はばたきフェスタの様子

支え合いやスキルアップの 場をつくるために

大阪狭山市民児協では市を3つにわけ、全民生委員を対象に、事例発表や情報交換の場として3地区合同会議を3年前から3カ月に1回開催しています。そこでは、日頃活動の中で困っていることや悩み、支援しているケースの課題を民生委員が発表。先輩委員をはじめとする参加者の意見を参考にしながら、民生委員同士で解決方法を探ります。

この取り組みにより、課題を一人だけで抱え込まないようにすると同時に、多様な事例と一緒に検討し、解決方法を考えることで、スキルアップにもつながっています。定期的な会議の開催によって、話し合う場があるという安心感が生まれ、地区委員長を中心に、地域の民生委員同士のつながりがさらに強くなりました。

今では、民生委員が病気等で一時的に活動が困難になった場合も、委員の活動を続けていきたいという気持ちや、地域を大事にしながら、地域の民生委員が率先して協力するなど、活動を助け合うような仕組みが自然に生まれてきました。

地域とのつながりを 大切にしながら

このような支え合うことのできる組織づくりを行いつつ、民児協の



児童虐待防止を呼びかけながら活動をPR

事業として市民向けの講演や映画会を開催。また、関係機関のさまざまな行事に民生委員児童委員協議会として参加することで、民生委員の活動を住民や関係機関にPRしています。

また、一人暮らしの高齢者には定期的に安否確認を行い、災害時一人も見逃さない運動の一環として、ブックレットや非常食も配付。住民に寄り添いながら、常に地域とのつながりを大切にしながら活動を広げています。

さらなる活動の充実に向けて

今後3地区合同会議や部会活動の充実など民児協としての組織強化を行いながら、委員同士が支え合いながら活動できるよう支援していきたいとのこと。活動しやすい環境づくりが委員の活動意欲の向上につながり、支援を必要とする人々に対してさらによりよい支援が行えるというよい循環が生まれています。



消防署員がガスコンロを使うか、暖房器具は何を使用しているのかなどを確認。一緒に台所を回りながら、どこが危ないかなどを確認していました。



いった指導が行われているのでしょうか。今回、ある高齢者宅への訪問に同行させていただきました。

訪問は、基本的に民生委員1名と消防署員1名で行い、消防署員が氏名や住所などを確認するとともに、ガスコンロや暖房器具の使用状況などをチェック。ガスコンロ使用時にはふきんやタオルを近くに置かないようにする、袖に火が燃え移らないように注意する、実際に火事起きたときの逃げ道を確保するために玄関先に物を置かない、などさまざまな注意点をお話されていました。また、消防法で平成23年6月までに住宅用火災警報機の設置が義務化されていることから、その周知はもちろん、設置場所などを指導。一人暮らし高齢者を狙った悪徳商法への対策など、防火以外のアドバイスも受け、高齢者も安心した様子でした。

「訪問した時には、悩みなどもお聞きするようにしています。民生委員だけではなく、消防署員も訪れることでいつもと違った話も伺えますし、高齢者の方々も

防火に対しての不安を取り除くいい機会になっています」と北野会長。民生委員にとっては、高齢者の状況をより理解できるきっかけにもなっているようです。「日頃から高齢者の方々とお付き合いのある民生委員さんと一緒に訪問することで、よりよい防火指導ができるようになりました」と消防署員からもこの取り組みが評価されていることがうかがえました。

一方、民生委員も活動を通して防災意識を高めることができたそうです。「私自身も一緒に消防署の方と訪問することで、防災に関する知識が身につき、他の家を訪問した際に『玄関に物を置いているともしもの時に危ないですよ』などと声かけできるようになりました。災害時一人も見逃さない運動にも連携した取り組みになっていると思います」と北野会長は話します。

今後は、さらに多くの高齢者



説明を受け、安心した様子的高齢者の方。民生委員にとっても実のある訪問となっています。

関係機関とのさらなるネットワークづくりへ

宅を巡回できるように民生委員で周知活動を行い、広げていきたいとのこと、消防本部ともこの取り組みを続ける方向で話が進んでいるそう。また、「防災マップを活用するためにも、消防本部に限らず、他の関係機関とも連携をとっていききたい」と各機関とのさらなるネットワークづくりも視野に入れています。災害時一人も見逃さない運動を推進するためにも、関係機関とのよりいっそうの連携を強化するこの取り組みの進捗が期待されます。

今後も取り組みを強化したいと語る北野会長



高年齢者宅への訪問指導が始まったのは、平成21年12月。高齢者一人ひとりの防災意識の向上はもちろん、高齢者についての情報を泉大津市民児協と泉大津市消防本部で共有することを目的にスタートしました。「消防本部でも以前に高齢者宅を巡回訪問したことがあったそうですが、消火器や火災警報機の点検を装った詐欺が多発していることもあって訪問しにくいとお聞きしました。それなら日常的に支援し、つながりのある民生委員と一緒に回りましょうという話になりました。

高齢者の状況をより把握できる機会に

では、実際の訪問時にはどう



民生委員・児童委員さん

●泉大津市民生委員児童委員協議会●

消防本部と共同で一人暮らしの高齢者宅への訪問指導を実施

訪問指導を希望する高齢者宅へ

泉大津市民児協では防火対策の一環として、泉大津市消防本部と共同で、一人暮らしの高齢者宅へ訪問指導を行っています。今回は、泉大津市民児協の北野会長から活動状況についてお話を伺うとともに、民生委員と消防署員による訪問に同行。訪問の様子や今後の取り組みについてご紹介します。



民生委員と消防署員が高齢者宅と一緒に訪問します。

した」と北野会長。

まずは、緊急通報装置を設置している高齢者宅を民生委員と消防署員で巡回しました。その結果、高齢者からは「専門家の話が聞けて良かった」など評判が良く、消防本部からも巡回を継続したいとの声があったことから、通報装置を設置していない高齢者宅も訪問することに決定。平成22年9月に、防災マップ改訂に伴う情報収集も兼ねて民生委員が各家庭を訪問した際に訪問指導の希望者を募り、現在、各世帯を巡回しています。

民児協だより

島本町

子育て支援事業「親子でクッキング」

ハンバーグをこねこねしています



平成14年から始まった「親子でつくる講座」は、毎年お母さんと子どもたちがふれあいセンターの調理室で料理に挑戦しており、子育ての相談や、親子の友達づくりの場としても活用されています。

今年のメニューは、野菜たっぷり煮込みハンバーグと温野菜のサラダフルーツ添え、わかめのすまし汁とおにぎりです。献立は、青少年児童福祉部会の委員たちが栄養バランスと夏場の衛生面を考えて作成しました。

子どもたちのエプロン姿はかわいらしく、お母さんの手助けを受けながら、上手に野菜を切ったり、ハンバーグの形づくりをしたりと、一生懸命に取り組んでいました。参加した小学生から「今日、習ったハンバーグを塩分控えめに作って、おじいちゃんに食べさせてあげたい」とのうれしい声



おいしいよ…
いただきます



ミジン切りがうまく出来るかな？



や、お母さんの「他の地域の人たちと交流できた」という声を聞くことができ、改めて親子の絆や心のふれあいの大切さを感じました。これからも町社会福祉協議会と共に、継続していききたい事業です。

島本町民児協

会長 富家孝

トーンチャイムの演奏



門真市

ようこそ！マタニティコンサートへ

門真市民児協、主任児童委員会では、次代を担う元気な赤ちゃんを産んでいただけるよう、胎教の一環として、もうすぐママになる方々のための「マタニティコンサート」の活動に取り組んでいます。

平成22年10月22日、門真市民文化会館ルミエールホールで、「第2回マタニティコンサート」が開催されました。妊婦さんにお茶を飲みながら音楽を聴いていただき、ゆつくりとした時間を過ごしてもらおうと企画したところ、31名の参加があり、会場はとても賑やかになりました。オカリナの美しい演奏、フルートとピアノによるコラボレーションでは、妊婦さんだけでなく、一緒に参加した小さな子どもたちも聴き入っていました。最後に全員で合唱をし、コンサートはお開きになりました。この日に向けて、主任児童委員15名はトーンチャイム

とハンドベルを一生懸命練習。その甲斐もあって、参加者の方々から「これからもステキな夢を与えてください」とたくさんエールを送っていただきました。また、男性の主任児童委員もむづかる子どもを抱っこしてあやしているのが印象的でした。

赤ちゃんが生まれたら、0歳児対象の「ぴよぴよクラブ」3〜4歳児対象の「親子人形劇」などに児童福祉部会の協力を得ながら取り組んでいます。今後は小・中学、高校生にも参加してもらえそうな行事を考えているところです。

門真市民児協

主任児童委員会
広報委員会



オカリナの演奏



人と人のつながりについて話す山本会長



活動がPRできるなら引き受けました。

当日は60余名の参加があり、会長が郷里の和歌山の村での、世代を超えた人と人とのつながりが密であった思い出話をされました。続いて、府の民児協連広報委員会が制作したDVDを見てもらいました。民生委員児童委員の仕事の内容が丁寧に分かりやすく編集されていました。

その後、当市の委員数・担当地区・部会活動や、特になじみが薄い主任児童委員の仕事について説明しました。昨年行った災害時相互応援協定を結んでいる諏訪市での研修も紹介し、現在、災害時要援護者台帳の作成整備に取り組んでいることをアピールしました。

講義の後、参加者から「民



民生委員・児童委員をPRする場

生委員・児童委員の仕事がどんなものかよく分かり、身近に感じられました」との声をいただきました。

富田林市民児協

会長 山本 俊雄



小学校校門にてパンフレットの配布



相次ぐ児童虐待による痛ましい事件や、かつて本市でも類する事例があったことから、委員一同奮起し、「子どもを守る」と活動を展開しています。

就園前児を対象に子育てトーク「おおくな一れを開催し、子育ての楽しさの自覚と、困ったときの身近な相談者としての民生委員・児童委員の存在の周知を目的に始めました。毎回、参加者も増えてきています。

虐待においては、早期発見・対応のためまず情報を寄せてもらうこと、また通報先や通報者に迷惑が及ばないことなどの周知が必要です。そこで、ピラを作成しました。同時に多重債務者の相談先、近くの民生委員・児童委員の連絡先を掲載し、小学校の参観日に保護者へ協力を呼びかけました。秋の市民体育祭では、背中にリボン染め抜いたオレンジ色のハッピーで、入場行進に参加し、市民に訴えました。



市民体育祭での入場行進

委員手作りの大旗をあらゆる機会に掲げて、オレンジリボンを見たら、虐待防止と知っていただけるよう、本市民児協では、1年中がキャンペーンと位置づけ、子どもを守る活動を続けていきます。

高石市民児協

前会長 石田 弘美



第79回 全国民生委員 児童委員大会&活動交流会

島根県
松江市

松江くにびきメッセで開催
全国から約3,800名の
民生委員・児童委員が参加しました!



● 式典 平成22年10月28日

1日目の式典では表彰式の後、義肢装具を製造する中村ブレイス株式会社社長である中村俊郎氏より「人々に希望と笑顔をーブレイス(支える)の竹取物語」と題した特別講義がありました。講義では「装具はものづくりの技術だけではなく、丁寧に当事者の心に寄り添いながらともにつくることで初めて役立つ」と話され、会場からは「民生委員・児童委員の活動に通じる部分が多い」と共感の声がありがた

● 大会宣言

- 「支援を必要とする住民の見守り・相談支援活動を着実に実践します」
- 「住民の誰もが安心して生活できる地域ネットワークづくりを推進します」
- 「高齢者、障がい者、子育て家庭の孤立・孤独をなくすための活動を進めます」
- 「児童、高齢者、障がい者虐待の予防、早期発見・早期対応と、犯罪被害から守るための活動に取り組みます」
- 「災害時に要援護者を住民とともに支え、助け合える地域づくりにまい進します」
- 「基本的な人権について理解を深め、個人情報取り扱いなど常に活動を見直し、住民や関係機関・団体との信頼関係に基づく活動を進めます」

ました。

また、幼少期に地域に支えられたご自身の経験から、現在、岩見銀山資料館理事長を務めるなど地域で実践されているまちづくり活動や、その地域の素材を活かした装具づくりを世界に広げたいなど、これからの夢で講演を締めくくられ、その積極的な取り組み姿勢に会場全体が熱気に包まれました。

式典の最後には民生委員・児童委員が安全で安心なまちづくりをより一層進めていくために6つの大会宣言が採択されました。

● 活動交流会 平成22年10月29日

2日目は島根県での活動事例の中心とし、10テーマの活動交流会が実施される中、大阪からも吹田市児協協が先進的な事例として孤立・孤独死防止の取り組みの発表を行いました。テーマはさまざまでしたが、どの交流会でも「新たな生活・福祉課題の実態と民生委員・児童委員の支援のあり方」が話題となり、他府県との活発な意見交換が行われました。これらを基に今後各府内での取り組みがますます広がるのが期待されます。



活動交流集会の様子

主任児童委員の動き

第3回主任児童委員連絡会を開催(12月17日)

平成22年12月の一斉改選に伴い、各民児協から主任児童委員連絡会に参加する代表者、主任児童委員連絡会委員が選出され、新しい委員が初めて一堂に会して、連絡会を開催。各ブロック(北摂・河北・河南・泉州・中核)から代表1名が連絡会役員として選出され、大阪府民児協連 主任児童委員連絡会役員が決定しました。

その後、行われた情報交換では、「今取り組んでいる主任児童委員活動の成果と課題について」「課題を解決するためには(他民児協の取り組みを参考に)」「これから主任児童委員として重点的に取り組んでいきたいこと」について活発に議論が交わされました。

取り組みは子育てサロンやこどもには赤ちゃん訪問事業、学校訪問など各民児協でさまざまでしたが、取り組みを進めていくためには、「地域の児童委員さんと連携して活動を進めていかなければならない」「主任児童委員をPRする」「学校や関係機関との信頼関係をさらに構築する」「地域と行政をつないでいくのが主任児童委員の役割ではないか」という共通した意見が出されていました。

今後はこの意見を参考にしながら、大阪府内の児童委員活動の推進のために、主任児童委員連絡会としての具体的な取り組みをすすめていきます。

■ 新主任児童委員連絡会役員のご紹介

代 表	副 代 表	幹 事
下田 幾子(寝屋川市)	馬場 宏(摂津市)	田中 光代(和泉市)
	上迎 俊介(高槻市)	小川 康代(柏原市)



情報交換では活発な議論が

就任にあたってのご挨拶

主任児童委員連絡会代表
下田 幾子

忘れもしない国際家族年にあたる平成6年、主任児童委員制度が始まり、17年が経ちました。その当時から少子高齢化、核家族化が進んでいきましたが、現在はおお一層、増加の一途をたどっています。育児不安、ひきこもり、不登校など深刻化する児童問題、急増する児童虐待など。そんな中、平成15年9月に連絡会が発足しました。仲峰子前代表をはじめとする歴代役員の皆様のご苦労に感謝しつつ、引き継いだ新役員5名が結束して、今後3年間、府内の主任児童委員活動のさらなる推進に向けて取り組みをすすめてまいりますので、関係各位におかれましては、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。